



# にしはら

2010  
**3**  
No.457

流れゆるる水に桜花うけて

色美らさあてど

すくって見ちやる

吉屋千ル

### 町の世帯・人口

(平成22年1月29日現在)

世帯数	12,910	世帯
人口	34,611	人
男	17,306	人
女	17,305	人

編集発行／西原町役場企画政策課(広報係)西原町字嘉手苅1-1番地

☎098(945)4533

印刷／(株)平山印刷

## みんなで考えよう！西原の教育を

～「西原町教育の日」の取り組み～



早川忠光さん

次代を担う西原町の児童生徒の学力向上と健全育成を推進することによって、「文教のまち西原」の具現化を目指そうと「西原町教育の日」が2月6日、西原東中学校で開催され、約400人の町民が参加しました。実践発表では、坂田幼稚園の異年齢間交流への取り組み、西原小学校の道徳学習の全員授業公開、沖縄県PTA広報紙コンクール小学校の部最優秀賞を受賞した西原南小PTA広報員会のあたたかさを感じる広報紙作り、与那城子ども会の子どもたちが地域の異世代の人と交流する「じぶん学び塾」など、研究の成果や課題が報告されました。館内には各学校や各子ども会活動の取り組みがパネルで展示されました。講演では、元国立沖縄青年の家所長の早川忠光さん(NPO法人地域サポートわかさ理事長)が「親子の絆とつけについて～体験的学習のすすめ～」と題し、「自主的な社会生活をしていく上で、頭ではなく、体を通して学ぶことが大切。生活体験、自然体験が豊富な子どもは、正義感や道徳が身についている」と述べていました。表彰式では、善行青少年や青少年育成功労者、スポーツ・文化活動の優良者、教育実践者が表彰されました。



### 西原企業探訪

## ニシバルみーぐるぐる



(株)トレビアン編

- ◆株式会社トレビアンとは◆和洋菓子を製造・販売している会社。昭和52年に創業し、平成16年に西原町字東崎に移転。現在、県内に15店舗を持つ。
- ◆ヒット商品◆トレビアンの代名詞ともいえる“クッキーシュー”は、クッキー生地とシュークリーム生地を合わせて、皮をカリッと焼きあげ、シュークリームの概念を覆し、大ヒット。店舗で焼き上げるスタイルで、定番のカスタードの他に、季節限定のマンゴーや紅イモ、黒糖なども好評。
- ◆オススメ商品◆地域に愛される商品になってほしいと、地元の地名をつけた“あがりざきろーる”は、スフレのようなスポンジに純度の高い3種類の生クリームを使ったロールケーキ。ふわっとした食感でしつこくなく、いくらでも食べれそう。また、黒糖を生地に練り込んだ“黒糖まんじゅう さわふじ”は、商品開発に時間をかけた西原町の銘菓である。
- ◆新しいものづくり◆「地域に根ざし、地域に愛される会社づくりを目指している。安心安全でおいしく、県内産の農産物を使ったスイーツ作りで、地産地消に加え、他府県へもPRしていきたい。また、生菓子を冷凍で持ち運べるようにするなど流通システムを模索中」と話す上江田広保代表取締役社長。クリスマスケーキを町社会福祉協議会に贈呈するなど、職場を通して地域への貢献にもつとめ、「良い製品を作り、良心的に供給する」という信条をふまえ、次々と新しいものづくりへ挑戦する姿勢がうかがえる。



左が黒糖まんじゅう さわふじ、右があがりざきろーる、奥がクッキーシュー



上江田広保社長

第20回

## チャリティーふれあい市開催!



西原町産品・特産品が大集合!

■日 時：平成22年3月28日(日)  
午前10時～午後3時(予定)  
※品物が無くなり次第終了します

■場 所：西原町役場前駐車場  
■主 催：ふれあい市実行委員会

お問合せ JAおきなわ西原支店 ☎945-5225  
西原町役場産業課 ☎945-4540

- 新鮮野菜販売 ●菊販売
- JA女性部・生活研究会・はんだまの里による農産加工食品販売
- 黒糖づくり実演会、黒糖販売
- 牛、やぎとのふれ合いコーナー
- リサイクルコーナー